

社会人基礎力 育成グランプリ2016

関東地区予選大会

2015年12月6日(日)

12:50~17:20(予定)

会場：拓殖大学 文京キャンパス

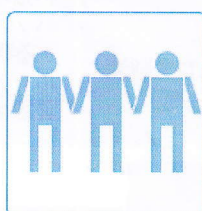
- 【主催】社会人基礎力協議会
- 【共催】経済産業省
- 【後援】公益社団法人経済同友会、日本商工会議所
- 【協賛】SMBCコンシューマーファイナンス株式会社、株式会社ウチダ人材開発センター、日本経済新聞社、キーファクター株式会社、メディア総研株式会社



Action



Thinking



Teamwork

【第1レーン】	審査委員長	関東経済産業局 地域経済部 次長	山口 栄二
	審査委員	久米繊維工業株式会社 取締役会長	久米 信行
【第2レーン】	審査委員長	関東経済産業局 地域経済部 人材教育事業局 教育コンテンツ部	渡辺 茂晃
		日本経済新聞社 日経カレッジカフェ副編集長	
	審査委員	関東経済産業局 地域経済部 産業人材政策課 課長	中島 大輔
		日本電気株式会社 事業イノベーション戦略本部 ビジネスモデルイノベーション室 室長	
		株式会社キャリアマム 代表取締役CEO	

【共催】

【後援】



社会人基礎力育成グランプリ2016 関東地区予選大会 第1レーン(C201教室)

1-①埼玉女子短期大学 国際コミュニケーション学科 エアラインホスピタリティコース

●13:10～13:30

北陸新幹線延伸を背景とした富山市の地域活性化
～隠れた富山のガラス～

目的 航空会社の地方再生事業に参画し、北陸新幹線延伸に伴う市民意識や品質評価の結果を基に、地域活性化をミッションとした組織を設立の中で学生の社会人基礎力醸成を狙う。

概要 学生が行う活動を全て企業内活動と見立て、テーマである「富山市のガラス文化」再発見を企業使命とした組織を、学生自らが運営や外部交渉を行うことで、エアラインビジネスの多様性や地域に眠る発掘すべきものを体感。データに溢れたネット社会に生まれ学生に、自らの目的に照らし、根本から「生の声で生の声を聴く」辛酸と遣り甲斐を実感させる。

1-②城西大学 経営学部

●13:30～13:50

学生とシニアがともにつくる新聞紙面

「学生と地域のシニアとが協力し、共同で何かできないだろうか」

こうした目的で始まったのが今回発表を行う地域情報の紙面づくりです。毎月1回、坂戸市にある文化施設オルモで、学生と地域のシニアが集まって、編集会議を行います。学生とシニアはチームを組み、取材テーマや段取りの打ち合わせ・取材を行い、原稿を執筆します。原稿は、その後の編集会議に持ち寄り、全員で読み合っって推敲・校正作業を行います。こうして完成した原稿は、後日埼玉新聞の紙面に掲載されます。学生とシニアとが世代を超えて刺激を受け合っています。

1-③千葉経済大学 経済学部経営学科

●13:50～14:10

地域活性化と社会人基礎力の育成
～雑誌編集部による若返り大作戦

学生を主役にしたフリーペーパーの制作と配布を目的とした「雑誌編集部」の結成と活動を通じて、組織形成や社会人基礎力を学ぶ。

更に、商店街の店舗共同で、活気のない商店街を活性化させるプロジェクトを立ち上げることによって、地域経済へ貢献すると共に、他の組織との連携や活動範囲の拡大、更なる社会人基礎力の向上を目指す。

1-④創価大学 経済学部経済学科

●14:10～14:30

幸せおすそわけプロジェクト
～Mottainaiを行動に 食品ロス削減を目指して～

メンバーの1人がケニアの劣悪な食料事情と日本での膨大な食料廃棄を目の当たりにした経験を元に、世界の食の不均衡に焦点を当てた。問題解決策としてドギーバッグ(食べ残しを持ち帰る容器)に着目した。そして、ケニアの子供達の絵を用いた独自のドギーバッグ「おすそわけBOX」を作成し、日本の食品ロス削減とケニアの食料事情改善を両立する事業を開始した。ホテル・飲食店・行政・NGO等への調査や営業を実施し、都内ホテルでの「おすそわけBOX」導入が決定した。現段階でケニアの子供達へ1000食分の給食提供を実現した。

1-⑤明星大学 明星教育センター

●14:30～14:50

全学部1年生を対象とした初年次教育科目「自立と体験1」における
チューデントアシスタントコーチの活動

明星大学では、全学部1年生について、発展的段階的に進めるキャリア教育の一環として、「自立と体験1」を必修科目としている。「自立と体験1」は、アクティブラーニングを採用し、教員はファシリテーターとして授業を進める。SAコーチは、授業を補助してくれるSA(チューデントアシスタント)学生(約80名)を指導する役割を担う。

SAコーチの役割は、SAの指導、悩み相談、SAの代役、教員とSAの橋渡しなど多岐にわたる。本発表では、SAコーチの活動を通じて社会人基礎力がどう伸長したかについて発表する。

1-⑥大東文化大学
国際関係学部
国際関係学科

●15:00～15:20

キャリア特殊講義
(問題解決学入門)

本プロジェクトは、超高齢社会における安心生活支援事業を展開する(株)らいふホールディングスとの連携による課題解決(PBL)の取組である。テーマは「高齢者を支える社会づくりに向けた方策について」

高齢社会問題を「人生の必修科目」と捉え、50年後の自分たちを幸せにするために取り組んだ「高齢者による高齢者のための商業施設」の構想である。学生たちは、高齢者の世界を理解するため、先入観を排した、徹底的な調査と観察に専念した。結果に妥協せず、専門企業のきびしい批判に耐えうる質の高い提案を目指した。

1-⑦東洋学園大学
現代経営学部
現代経営学科
広告マーケティングコース

●15:20～15:40

冷や汗体験英語プログラム
(SHODO EXPERIENCE)への挑戦

概要:澤の屋旅館に滞在する外国人観光客に対して、英語が苦手な学生らが、簡単な英語だけで「書道」を教えるプログラム。企画・運営は、学生自ら主導している。

目的:(1)学生に逃げ場のない英語環境を提供することで、学習への意欲を喚起すること(2)外部協力者を巻き込んだ緊張感のある企画を学生自ら運営することで、プロジェクトマネジメント力の底上げを図ること(3)外国人に、今の日本を生きる若者からリアルな生活文化の一端を提供することで、草の根平和交流を行いつつ、インバンド活性化に貢献すること。

1-⑧拓殖大学
政経学部法律政治学科

●15:40～16:00

防ごう!高齢者万引き「買い物コンシェルジュ」プロジェクト
～心を汚すその前に～

最近の高齢者犯罪の背景を探るために万引き犯罪を取り上げた。高齢者万引きは社会的孤立などが原因とされ、いわば被害者の側面もある。そこに、犯罪学で「声かけ有効説」に出会った。つまり、声かけで万引きを防ぎ、高齢者が心を汚す前に手を差し伸べることができる。そこで、スーパー売場でゼミ学生が交代で高齢者に声をかけ買い物を支援するプロジェクトを立ち上げ、その副次的効果として万引きを一定程度防ぐことができた。昨年はプロジェクト実施、今年はその結果分析と同じプロジェクトを規模や内容を拡大して実施する予定である。

社会人基礎力育成グランプリ2016 関東地区予選大会 第2レーン(C301教室)

2-①芝浦工業大学 工学部共通学群

●13:10～13:30

システム思考を用いた
農業グループ支援プロジェクト

地域志向PBL授業と卒業研究で、地域自治体や種苗会社と連携し、中小規模農業グループを支援する地域間連携型ITシステム構築やシステムへ反映させる栽培分析を行っている。プロジェクト参加の学生は、同世代の農業従事者や自治体関係者らとの連携を通じ、日本農業の現状、農業を持続可能にする意義、システム思考を現実化させる手法、学んだ技術を社会との関連で実質化する方法を学んでいる。また、チームで現実の問題に取り組み、工学的解決方法を考え、プロトタイプも作成している。活動地域は、さいたま市、石巻市、石川県である。

2-②信州大学 サテライト・ベンチャー・ ビジネス・ラボラトリー(SVBL)

●13:30～13:50

くわでく る み ました！
～0からの社会人基礎力～

私達はベンチャービジネス概論を受講し、社会人基礎力の向上のために主体的に活動する中で、信州のくるみ菓子メーカーの商品パッケージ開発という機会を得ました。既存のパッケージに付加価値を付け、より多くの消費者の視線を集めるという目的を果たすよう努力しました。具体的には商品に関するロゴ、キャラクター、標語を制作しました。その際に知的所有権などに関する課題に直面し、その壁をチーム一丸となり乗り越えました。その結果として私達の提案が採用され、状況把握力・問題解決力・創造力などの能力が鍛えられました。

2-③諏訪東京理科大学 経営情報学部・ 経営情報学科

●13:50～14:10

諏訪湖周へ行ってみたいくなる魅力
アップ！～イルミネーションで感動を
演出せよ～

学科混成の3年生チームが依頼課題に対して、調査・立案し、学内コンペに挑むPBL型授業。学生らはチームビルディングからはじめ、現地調査、立案、実現性などを検証し、企画をまとめる必要がある。

課題の依頼主は、諏訪市光の祭典実行委員会。長野県の諏訪湖の冬のイベントである湖上イルミネーションについて、先ごろ開発されたインターネット対応イルミネーションのコントローラを活用し、そのインタラクション機能を生かして、来場者の感動を演出することが課題。学生らは、多人数参加ゲーム型イルミネーションを企画立案した。

2-④多摩大学 経営情報学部

●14:10～14:30

村山貞幸ゼミ
「日本大好きプロジェクト」

目的 日本の伝統文化を伝承する。

概要 イベントを通じて日本伝統文化を伝承する。

幼稚園、保育園、児童館、小学校、高齢者施設で行う訪問型イベント

増上寺、東京ミッドタウンなど、神社仏閣、商業空間で行う、集客大型イベント

2-⑤創価大学 経営学部経営学科

●14:30～14:50

多くの若者に食選力を—いただきま
すプロジェクト—

近年、「若者の栄養不良」が社会問題化している。その主な原因として、コンビニ食の利用の多さが指摘されることが多い。しかし、調査を進めていくと、「コンビニが悪い」のではなく、「コンビニをうまく活用できていない」ことが本質的な課題であることがわかった。本プランでは、若者が自らの力で自身の健康をマネジメントするための食選力(食を選ぶ力)向上を目指し、コンビニ食でも健康になれる栄養バランスの良いコンビニ食品の組み合わせメニュー(献立)をWebサイトで提供する。

2-⑥拓殖大学
国際学部国際学科

●15:00～15:20

ミッタパープ
ラオスと南三陸をつなぐ
3年目の挑戦

わたしたちミッタパープは、ラオスのカトゥー族の一村一品活動の活性化と宮城県の被災者グループ(南三陸ミシン工房)による縫製活動を結び付け、収入創出と自立、文化的価値への誇りを取り戻す努力を支援してきました。
ビジネスの仕組みを使いながら、労働に対するフェアな価格を保証しつつ、前者にはさらなる品質改善の意欲を喚起し、後者には自信とプライドに満ちた社会的貢献を通じて再起への意欲を高めてもらうことを応援してきました。今年は2年生を中心に後輩と協働することで来年へ向けて活動を続ける態勢づくりを行いました。

2-⑦東洋大学
社会学部
社会文化システム学科

●15:20～15:40

ラオス産コーヒーの
製造販売プロジェクト

本プロジェクトは、ラオスのコーヒーを学生自身の手で製品化し、学内外において販売し、ラオスの生産者のもとを訪れるスタディツアーの際に、その収益の一部を使って現地の教育環境を改善することを目的としている。昨年度、「Smile FLAOS」という団体を作り、5万円ほどの利益をあげ現地で生産される簡易浄水器を4つの小学校に設置し、手洗いの大切さを伝えるワークショップを実施した。本年度の目標は8万円の利益をあげ、オリジナルの絵本を作成し同様の小学校に設置し、読書の大切さを伝えるワークショップを実施する。

2-⑧明海大学
経済学部経済学科

●15:40～16:00

COME BOOK!!
～図書館に学生を取り戻せ～

私たちのチームの活動目的は、大学図書館の来館者数を増やすことです。来館者は、大きく分けると学外からと学内(教職員・学生)に分けることができますが、とくに学生の来館者数の増加を目的としています。
この目的を達成するために、私たちは資料収集や学生へのアンケートを行い、学生が興味を持てるテーマの関連図書を集めた展示コーナーを設けることにしました。展示コーナーの設置は期間限定とし、展示期間中の来館者数を過年度のデータと照らし合わせて効果を測定し、今後の改善策を考えます。

2-⑨目白大学
人間学部心理
カウンセリング学科

●16:00～16:20

広げよう、児童虐待防止の輪:
目白初より目白発

私たちは「オレンジャー」です。オレンジャーとは「オレンジリボン運動」、すなわち児童虐待予防啓発活動を行うゼミ生による団体です(目白大学初)。活動の手始めは目白大学桐和祭。掲示物だけでなく手作りの人形劇なども準備。来場者は300名を超えました。「児童虐待防止」をしっかりと発信できたこと、和やかな雰囲気壊さず接客できたこと、そしてゼミ生の長所を理解し、葛藤を乗り越えゼミ仲間からチームへと成長できたことが私たちの誇りです。来場者からのあたたかな支援のお言葉を受け、今後も活動を継続していきます。

社会人基礎力育成グランプリ2016

関東地区予選大会タイムスケジュール

第1 ラウンド C201	時間	順番	学校名・学部名
	12:50~13:05		開会式
	13:05~13:10		会場移動
	13:10~13:30	①	埼玉女子短期大学 国際コミュニケーション学科エアライン ホスピタリティコース
	13:30~13:50	②	城西大学 経営学部
	13:50~14:10	③	千葉経済大学 経済学部経営学科
	14:10~14:30	④	創価大学 経済学部経済学科
	14:30~14:50	⑤	明星大学 明星教育センター
	14:50~15:00		休憩
	15:00~15:20	⑥	大東文化大学 国際関係学部国際関係学科
	15:20~15:40	⑦	東洋学園大学 現代経営学部現代経営学科・広告 マーケティングコース
	15:40~16:00	⑧	拓殖大学 政経学部法律政治学科
	16:00~16:30		休憩
	16:30~17:00		学生企画
	17:00~17:20		【結果発表】

第2 ラウンド C301	時間	順番	学校名・学部名
	12:50~13:05		※開会式はC201で行います
	13:05~13:10		会場移動
	13:10~13:30	①	芝浦工業大学 工学部共通学群
	13:30~13:50	②	信州大学 サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボ ラトリー(SVBL)
	13:50~14:10	③	諏訪東京理科大学 経営情報学部・経営情報学科
	14:10~14:30	④	多摩大学 経営情報学部
	14:30~14:50	⑤	創価大学 経営学部経営学科
	14:50~15:00		休憩
	15:00~15:20	⑥	拓殖大学 国際学部国際学科
	15:20~15:40	⑦	東洋大学 社会学部社会文化システム学科
	15:40~16:00	⑧	明海大学 経済学部経済学科
	16:00~16:20	⑨	目白大学 人間学部心理カウンセリング学科
	16:20~16:30		休憩・C201へ移動
	16:30~17:00		※学生企画・結果発表はC201で行います
17:00~17:20		※学生企画・結果発表はC201で行います C301	